

3Dプリンターで作った模型を展示しています

鶴見大学文学部ドキュメンテーション
学科の元木先生より、3Dプリンターで作
成した模型を寄贈していただきました。

3D模型は、視覚障害者が物体の形を捉
えるためにも利用されています。

実物に触れることで興味を広げ、先端技
術やものづくりへの関心を深めてほしい
です。



実際には触れることも危険なカエンダケ。3D模型なら手に取ることができます。

隣の模型はコロナウイルスです。



3D プリンター